

認知症・介護セミナーの告知で他のメディアを圧倒する応募数！

ベネッセスタイルケアが主催するセミナー『「認知症治療の最前線」～神経内科医の立場から』の告知を、講演する西中和人先生のインタビュースタイルのペイドパブリシティで掲載。
リビング新聞の読者で、全体の応募数の約6割にあたる182名の応募がありました。同時に掲載した他紙や日刊紙の折込などを大きく上回る応募数に、広告主から高い評価を得ました。

広告主・商品	ベネッセスタイルケア
掲載日・実施期間	2014年新春号 [1月6日(月)・7日・8日(金)配布] 2014年1月18日号 [16日(木)・17日(金)配布]
掲載エリア・体裁	新春号／大阪 ペイドパブリシティ1ページ 北摂中央・北摂東・京阪 ペイドパブリシティ3段1/2 1月18日号／大阪・北摂西・南大阪・阪神東・阪神中央 ペイドパブリシティ3段1/2

7 2014年 新春号 [三] リビング 大阪

今知っておきたい認知症治療の最新事情
適切な治療と介護で希望を持って
住友病院 神経内科診療主任部長・西中和人先生に聞きました

新春特別開催 地域医療セミナー 1月26日(日)開催

本人だけでなく、介護する家族の生活にも大きな影響を及ぼす認知症。不安を抱えていたり、対応に悩んでいる家族も多いのでは。最新情報の最新情報、効果的な治療の最新事情について、住友病院 神経内科診療主任部長の西中和人先生に聞きました。

西中和人先生
住友病院 神経内科診療主任部長
日本神経学会専門医・指導医
日本神経学会専門医・指導医
日本神経学会認知症学術委員会

主催/ベネッセスタイルケア
協力/住友病院

認知症のものは、人の手助けが必要に
失物、失行、失認、実行障害等も
急に転倒や歩行障害、尿意を感
知しなくなるなどの症状を
手助けする「介護」が必要に
加齢によるもの恐れと認知症の違い
認知症の恐れと認知症の違い
認知症の恐れと認知症の違い

軽度認知障害(MCI)とは
認知症に発展した状態で、認知症の初期段階であり、正常な生活を送ることもできるが、記憶力や判断力などが低下している状態を指します。軽度認知障害は、認知症の予兆と見なされ、早期発見・早期治療が重要です。

新春特別開催 「地域医療セミナー」
「認知症治療の最前線」～神経内科医の立場から～
主催/ベネッセスタイルケア 協力/住友病院

高齢社会の今、最も身近な認知症。認知症の早期発見の重要性や特徴、効果的な治療についての最新情報、認知症の専門家・臨床医の住友病院 神経内科診療主任部長・西中和人先生がわかりやすく解説してくれます。

【日時】1月26日(日)午後2時～3時30分
【会場】ホテルモントレ グラミア大阪 2階(スノーバー)
大阪府東淀川区東1-2-3(淀川)

【参加費】無料
【定員】先着50人・希望者は、前日までに電話で予約を

【お問い合わせ先】
ベネッセスタイルケアお客様窓口
0120(17)1165
http://kaigo.benesse-style-care.co.jp/kansai/

今知っておきたい認知症治療の最新事情
地域医療セミナー「認知症治療の最前線」～神経内科医の立場から～ 参加無料
新春特別開催 1月26日(日) 会場はホテルモントレ グラミア大阪
主催：ベネッセスタイルケア/協力：住友病院

認知症とは、生活機能や認知能力が低下し、本人や周囲に大きな影響を及ぼす病気です。早期発見・早期治療が重要です。本セミナーでは、最新情報の最新情報、効果的な治療の最新情報、認知症の専門家・臨床医の住友病院 神経内科診療主任部長・西中和人先生がわかりやすく解説してくれます。

【日時】1月26日(日)午後2時～3時30分
【会場】ホテルモントレ グラミア大阪 2階(スノーバー)
大阪府東淀川区東1-2-3(淀川)

【参加費】無料
【定員】先着50人・希望者は、前日までに電話で予約を

【お問い合わせ先】
ベネッセスタイルケアお客様窓口
0120(17)1165
http://kaigo.benesse-style-care.co.jp/kansai/

Response

★応募状況 209組 314名

内訳	リビング新聞	120組	182名
	フリーペーパーA紙	49組	80名
	その他(日刊紙折込・DM等)	32組	52名